の整備拡充が遅れているという認識は十分ある。

議員　当該危険箇所における東京都と共通認識を持つための取り組みを伺う。

市長　交通安全対策等については、道路管理に関連する部署等において担当者間や東京都への要望などを通して、様々な機会を捉え情報共有を図っている。

議員　市民の健康増進のため歩行者に優しいまちづくりが重要と考える。歩道整備や歩行者空間の創出について所見を伺う。

市長　整備が遅れている都道について、本市が肩代わりする形で整備する手法も含め様々な協議を東京都と行っているところである。

議員　高齢者の社会的孤立を防ぐための取り組みが予防医療の観点からも必要と考える。外出機会の創出について所見を伺う。

市長　高齢者に優しいハード面の整備と外出したくなる地域づくり、居場所づくりが非常に大切と考える。

市民の安全・安心のための災害対策に努めよ

令和山桜会
吉沼　徳人　議員

議員　災害に備え調布飛行場から三鷹中央防災公園・元気創造プラザまでと各避難所への物資輸送経路の無電柱化を早急に進めるとともに、市内の緊急輸送道路等についても無電柱化を都に要請すべきだ。

市長　災害時や災害復旧時の拠点となる施設等を結ぶ重要な路線を整備することを市として掲げている。都市計画道路整備の進捗に合わせ、取り組んでいく。

議員　避難所となる一部の学校体育館に空調設備が設置されるが、天井が高いため暖房効果は低い。暖房を必要とする時期には工夫が必要だ。所見を伺う。

危機管理担当部長　空調設備の整備を進めるとともに、毛布やエアマットを効果的に活用していく。

議員　避難所の停電対策として蓄電装置が必要だ。所見を伺う。また、避難所の自家発電装置の保有台数と燃料の入手方法を伺う。

危機管理担当部長　蓄電装置は費用対効果が低いため継続的課題としている。各避難所が保有している発電機は89台あり、燃料は都が石油連盟等と締結している大規模災害時における石油燃料の安定供給に関する協定により確保していく。

多様なニーズに対応した教育環境の整備を

令和山桜会
土屋けんいち　議員

議員　髪型や肌着等の色を指定している中学校があるが、提案内容を学校へ知らせて議論を喚起したい。

議員　校則を各校のホームページで公開することで地域の方等への周知と、在校生が遵守する意識につながると考える。所見を伺う。

教育長　学校側が決めることであり、コミュニティ・スクール委員会等で議論されることが望ましい。

議員　都教育委員会はスマートフォンの小・中学校への持ち込みを区市町村の判断に委ねた。本市の今後の取り組みの方向性を伺う。

教育部長　校長会等の意見を基に判断する必要がある。児童・生徒の発達段階を考えると時期尚早だ。

議員　今後の情報通信端末の持ち込みに対応するSNSルールの策定等と情報モラル教育について伺う。

教育部長　児童・生徒が参加して制定したSNSルールの見直しは毎年行われている。情報モラル教育では、子どもたちが加害者にも被害者にもならないよう指導している。

アウトソーシング事業の更なる検証・活用を

令和山桜会
渥美　典尚　議員

議員　自治体では様々な形でアウトソーシング、いわゆる外部委託が行われている。本市においても、学校給食の調理や地区公会堂の運営管理等の業務委託を行っている。業務委託に当たっての判断基準等の設定について伺う。

市長　市民においては、サービスの提供主体が行政か民間かということよりも、どれだけ質の高いサービスを受けられるかが重要である。ガイドライン等の定めはないが、様々な観点から検討し判断している。

議員　法人格等を持たない市民グループとの協働等もアウトソーシングの一つと考える。所見を伺う。

市長　役割と責務についてパートナーシップ協定等をしっかりと結び、事業展開を図っていくことが求められ、推進してきた。

議員　郵便局で行っている「みまもりでんわサービス」は、料金も比較的安価であり有用と考える。活用についての所見を伺う。

健康福祉部調整担当部長　本市ではみたかボランティアセンターでの安否確認や高齢者電話訪問事業等を行っている。今後、企業によるサービスも選択肢の一つとして検討していく。

委託による給食調理（第一中学校）

適正な猫の餌やりと健康長寿に向けた取り組みを

令和山桜会
伊東　光則　議員

議員　野良猫への餌やりで住民間での問題があると聞く。本市における地域猫活動は、国や都の定義にのっとっているものか。

市長　飼い主のいない猫へ餌やり等を行っている個人、団体が存在することは承知している。国や都の定義に基づく地域猫活動については把握していない。

議員　市民からの、飼い主のいない猫に対する苦情の内容と対応について伺う。

生活環境部調整担当部長　糞尿による問題、猫の毛が洗濯物につく等の苦情がある。職員が現場状況を確認し、餌を与える人を特定できれば、苦情内容を説明し近隣へ迷惑を掛けない対応等をお願いしている。

議員　罰則付きの餌やり禁止条例を施行している自治体がある。本市の条例化についての考え方を伺う。

市長　現在、飼い主のいない猫に餌やりを禁止する条例の制定は考えていない。

議員　壮年期における健康長寿の取り組みが必要と考える。健康維持支援のための取り組みについて伺う。

市長　生活習慣病の予防や健康増進のための講座、体操や健康講座といった地域の健康づくり活動に対する支援を実施している。

三鷹市の活性化につながる公共交通の充実を

令和山桜会
後藤　貴光　議員

議員　住みやすく活力のあるまちづくりにおいて、公共交通の果たす役割は重要だ。高齢化の進行に伴い、より細やかな路線の設定も必要である。路線バスとコミュニティバスの役割分担と考え方について伺う。

市長　コミュニティバスは、路線バスのルートが少ない交通不便地域の解消を図る役割を担っている。鉄道、路線バス、コミュニティバスがそれぞれの役割分担のもと、交通ネットワークを形成していく必要があると考えている。

議員　観光や市内商店等の利活用促進の視点から、公共交通の路線や乗降場所をどう検討しているか伺う。

市長　コミュニティバスの抜本的な見直しの中で、市内観光スポットと鉄道駅を回遊したり、商店街等と連携し商業集積地を結ぶバスルートの検討を進める。

議員　三鷹駅南口における乗降の過密化等の解消に向けて、今後の再開発においては公共交通のあり方も検討すべきだ。駅前の将来的なビジョンについて伺う。

市長　安全性・利便性の向上を基本とし、再開発事業等の取り組みを踏まえながら、駅前の交通環境を適切に整えるよう検討する。

防災・減災のまちづくりを更に推進せよ

自由民主クラブ
伊藤　俊明　議員

議員　市民の命を守り安全で安心なまちを実現する防災・減災の取り組みを更に推進すべきだ。まちづくりの基本的考え方等を伺う。

市長　市民の生活が充実し未来に希望が持てるまちづくりを推進するとともに、防災・減災の視点を持ってまちの魅力を高めていく。

議員　台風第19号の対応で多くの課題が明らかになった。検証すべき課題を伺う。

市長　避難所の開設・運営に関してペット対応や車両での避難等々について今後、課題の検証を踏まえ、風水害対策に生かしていく。

議員　災害時在宅生活支援施設の整備が重要だ。整備に係る課題と協力者となる町会・自治会等へのインセンティブについて伺う。

電線の地中化が実施された三鷹台駅前通り

市長　自宅が安全な場合、在宅での避難生活を求めるとともに、町会・自治会等へは防災出前講座などで周知・啓発等を行っていく。

議員　災害に強い都市の構築のため電線の地中化を推進すべきだ。所見を伺う。

都市整備部調整担当部長　都市計画道路事業等に合わせ、防災、景観等を考慮し積極的に取り組んでいく。

議員　災害発生時には様々な団体との連携・協力が重要となる。今後の協定締結団体の拡充について伺う。

市長　関係部課と緊密に連携し福祉避難所の協定締結の拡充に取り組んでいく。

議員　災害発生時には自衛隊が大きな力となる。自衛隊との関係性強化を伺う。

市長　日頃からの連携が非常に重要と認識する。これまでの連携・協力関係を維持・発展させていく。

議員　小・中学生への防災教育は重点課題と考える。今後の取り組みを伺う。

教育長　防災教育の更なる充実に向け児童・生徒、保護者、地域に対し一層の意識改革や啓発を図っていく。

医療データを分析し医療費膨張を抑えよ

自由民主クラブ
宍戸　治重　議員

議員　平成30年度の国の概算医療費は42兆6千億円と

（6面へ続く）